

南極から附中へ

南極観測隊員のつぶやき

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校
校長通信 第15号 令和2年5月8日



○南極の人びと 白瀬 矗（しらせ のぶ, 1861-1946）

白瀬矗は、日本人として初めて南極大陸を目指した人物です。

「海南丸」で1912年に南極大陸上陸、南緯80度5分・西経156度37分に到達し、一帯を大和雪原（やまとゆきはら）と命名し、日本の領有権を宣言しました。

白瀬矗が隊員を募集した時の条件の中に「身体強健にして堅忍不拔の精神を有し、かつ多量の飲酒をせず、歯力強健にして梅干の核(たね)を噛み砕きえるもの」があります。

みなさんは、梅干しのたねを噛み砕いたことがありますか？

晩年は、愛知県豊田市へ移り住み、亡くなる。現在も碑が残っています。お墓は愛知県吉良町（現在の西尾市）にあり、顕彰碑が立っています。



<豊田市にある碑>



<西尾市にある顕彰碑>

私が好きなことば ⇒

